

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月 21日

事業所名 放課後等デイサービス Pilina

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6		活動スペースが約100平米あり、活動に合わせて全体を使ったり、区切ったりしている。	
	2	職員の配置数は適切である	5	1		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	2	3		玄関に入るまで階段を使わなくてはならない建物の構造になっている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6		1日に朝礼、昼礼、終礼の3回全体会議を行っている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	2		自己評価については今回が初めての為、今後実施していく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	1	4		今後行う予定。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	4		今後定期的に行う予定。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6		自主的に研修参加した内容も共有している。	毎月職員会議を行っている。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6		担当者会議、モニタリング等には2名体制で参加している。その情報を全体会議で周知したり、アセスメントを話し合える時間が枠組みされている。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	2		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	1		
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6		日頃からアンテナを張り、子どもたちのニーズも含めて季節などに合わせてプログラムを作成している。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3	2	日々行えるように事前の会議で設定している。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	1		個別活動について今後はさらに綿密な計画を立てていきたい。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6		昼礼で活動の確認、担当者の確認等を毎日行っている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6		終礼にてその日利用した児童を中心に振り返りを行っている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6		個別の目標を基に日々振り返りを行っている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6			
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	6		基本活動を軸にプログラムを計画している。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6		2名体制で参加し、情報の受け取りになるべく偏りがないようにしている。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6		積極的に行っている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1	3		今後受け入れる予定はないが、必要な際は積極的に連絡体制を整えていきたい。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	2		卒園した園と情報共有は行っている。今後も継続していきたい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	1	3		色んな機関とのつながりを作っていきたい。移行するケースがあった際にすぐに提供できるように準備をしていきたい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	4		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3	3		地域交流の場を見つけ、交流の機会を増やしていきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		5		代表が行っていたが、積極的に同行して他の支援者も参加出来る機会を作りたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6		連絡帳や送迎時の報告、スマホアプリ等を使用し、日頃の様子を伝え合っている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	2		送迎時などの情報共有から必要に応じて、訪問等で時間を取って話し合う機会へとつなげていきたい。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6		契約の際に説明を行い、いつでも質問に答えられるように支援者間で情報の共有を行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6		相談にその場で対応可能な場合は助言を行い、職員全体に周知している。対応が難しい場合は会議で共有し適切な助言を検討し対応している。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6		今年度は年に4度の保護者会や保護者参加の活動を行った。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6		グループフォームやスマホアプリなどいつでも確認出来るようなツールを使用している。	
	35	個人情報に十分注意している	6			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	5		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		5		現在作成中。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	1		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6		第三者委員会にも研修に参加してもらい事業所内だけの意見や視点にならないようにしている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		5		現在身体拘束についてのマニュアル等を作成中。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	3		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6			